INVITATION
すべての世界は劇場だ。
すべてのキャラクターはその演技者であり、
みな出番のときを待っている。
最重要7作品のスタッフ&キャストが、
劇的な新世界へと誘う超特集!
TV「魔法科高校の劣等生」
毎週／土 深夜0.30-1.00 TOKYO MXほか
その他の放送局はP.79を参照
WEB▶http://mahouka.jp/
Twitter▶@mahouka_anime
illustrated by TAKASHI KUMAZEN, finished by NORIKO ABE
special effect by SHIN INOIE, background by RIE ODA(KUSANAGI)
text by AKIYOSHI HIZUME
©2013 佐島 勤／KADOKAWA アスキー・メディアワークス刊／魔法科高校製作委員会
持つ者、持たざる者の道
千葉エリカ
司波達也
司波深雪
光井ほのか
服部刑部少丞範蔵
七草真由美
新入生の間にある絶対的ヒエラルキー
波乱の幕開け――。核兵器すらねじ伏せる戦闘能力をもち、近未来世界では国家間の戦力バランスを左右する存在、それが魔法師だ。国立魔法大学付属第一高等学校はこれらを育成する機関であるが、新入生は入学の段階で、将来を嘱望される優等生の一科生・通称「花冠（ブルーム）」とその補欠でしかない劣等生の二科生・「雑草（ウィード）」とに区分される。潜在的な魔法能力に秀でているとはいえ、この容赦ない現実を突きつけられるのはまだ10代の若者たちだ。一方は増長したエリート意識をもち、他方はそれに反発する。矛盾を内包したこの学園を象徴するかのような対立が、新入生同士で勃発する。その渦中にいたのが、司波達也と深雪の兄妹だった。
それを一時的に収めたのも、またこの学園らしさを示すやり方だった。生徒による自治を重んじるこの学園では、選挙で選ばれた生徒に対してさまざまな権限が与えられている。そのなかでも、特に風紀委員は魔法使用に関する校則違反者の摘発や騒乱行為の取り締まりといった実効的な行動が認められている。生徒会長の七草真由美と風紀委員長の渡辺摩利は、1年生同士の騒乱に現われ、武力行使に近い形でその場を収めたのだった。騒乱に際し、司波兄妹に注目した彼女らは改めて接触をはかろうとする。校内実力者たちのその目的とは――？
独自の制度で運営されているこの学園は、魔法理論と実効、自治と騒乱、そして優等生と劣等生と、絶対的な区別にあふれており、それによって平穏が保たれていた。しかし、司波兄妹の入学を機に、この世界の強固な秩序は、少しずつ変化していく……。
37 Newtype
Newtype 36

TV ニセコイ
毎週／㈰　深夜2.28～MBSほかにて放送中!／その他の放送局はP.83参照
公式サイト http://www.nisekoi.jp/
STAFF　原作＝古味直志（集英社「週刊少年ジャンプ」連載）　総監督＝新房昭之　監督＝龍輪直征　シリーズ構成＝東冨耶子、新房昭之　キャラクターデザイン＝杉山延寛　総作画監督＝潮月一也　ビジュアルエフェクト＝酒井基　色彩設計＝滝沢いづみ　撮影監督＝江上怜　編集＝松原理恵　美術監督＝内藤健　音楽＝菊谷知樹　音響監督＝亀山俊樹　アニメーション制作＝シャフト
illustrated by AKIHISA TAKANO
finished by ANIME ASH
background by STUDIO TULIP
text by YOSHIKATSU NAKAGAMI
© 古味直志／集英社・アニプレックス・シャフト・MBS
鍵をもつ第3の少女
万里花台風接近中!
親同士が決めたニセの恋人同士、だけど最近はちょっとずつ距離が近づきつつある桐崎千棘。お互いに思いを寄せ合いながらも、なかなか口には出せないもどかしさがある小野寺小咲。そして今も心の奥に大切な思い出として残っている、10年前の約束の女の子――。一条楽を巡る恋の三角関係は、千棘と小咲の両方がペンダントの鍵をもっていることで行方がわからなくなってしまった。2人のうちのどちらかが、あの初恋の少女なのか? そしてもし真実がわかったとしたら、今の楽の気持ちは変わるのか? ペンダントに挿した千棘の鍵が折れてしまったせいでこの問題が迷宮入りするかと思われたなか、重要な手がかりとして出てきたのは楽の家に残された10年前の写真。しかし、そこに写っていたのは千棘でも小咲でもない、まったく見覚えのない顔だった……。
その少女の正体は、楽の許嫁・橘万里花。ニセとはいえ恋人がいるのに許嫁というのもおかしな話だが、その許嫁が同じクラスに転入してくるというからさらに話はややこしくなりそうだ。しかも、千棘・小咲に次ぐ第3の鍵の持ち主であり、10年間ずっと楽のことを慕いつづけていたという万里花は、転校初日にいきなり楽に抱きつくという超積極的な女の子。自分の気持ちに素直になれない千棘や、おとなしい小咲を一気に追い抜いていくかのように、楽への猛烈なアタックを繰り返す。うかうかしていると、本当に万里花が楽の気持ちをさらっていってしまうかもしれない!?
万里花という強力なライバルの出現によって、急激に変化する千棘と小咲の恋模様。楽を巡る三角関係、改め四角関係はこれからますますフクザツになっていく。
小野寺小咲
橘万里花
鶫誠士郎
桐崎千棘
鍵の「トラブル」3人目

INVITATION

TV 花物語

●5月31日より5週連続スペシャル放送決定。詳しくは公式WEB参照
WEB▶http://www.monogatari-series.com/2ndseason/
Twitter▶@nisioisin_anime

Illustrated by NORIO KOSAKAI, background by RYUBIDO
finished by SHAFT, supervised AKIO WATANABE
text by HIDEKUNI SHIDA



**STAFF** 原作＝西尾維新『花物語』(講談社BOX) キャラクター原案＝VOFAN 総監督＝新房昭之 監督＝板村智幸 シリーズ構成＝東冨耶子・新房昭之 キャラクターデザイン・総作画監督＝渡辺明夫 アニメーション制作＝シャフト

**CAST** 神原駿河＝沢城みゆき 沼地蠟花＝阿澄佳奈 神原遠江＝根谷美智子

**STORY** 阿良々木暦の卒業後、高校3年生に進級した神原駿河。直江津高校にひとり残された彼女の耳に届いたのは、"願いを必ずかなえてくれる「悪魔様」"の噂だった

# かなわなくてもいい願いごと

## 女子高生目線の青い願いの物語

残されたひとつの物語がついに明かされる。「〈物語〉シリーズセカンドシーズン」の最後を飾る「花物語」がオンエアとなる。このエピソードは、「〈物語〉シリーズ」の時系列で最も未来に位置する作品。主人公の阿良々木暦や戦場ヶ原ひたぎは高校を卒業し、すでに直江津高校にはいない。新房昭之総監督のもとで本作を手がける板村智幸監督はこのエピソードをどのように映像化しているのだろうか。

「『花物語』は神原駿河目線のお話になります。原作を読んだとき、『偽物語』に出ていたあの方が意外な形で出ている！と驚きました。『恋物語』のあとに読むとわかりやすいと思います」

神原駿河は、暦の恋人・ひたぎを慕うあまり、暦まで慕うようになった女子校生。ふだんは変態的なトークばかりを繰り広げているが、彼女の抱えている葛藤は深刻かつシリアス。かつて「悪魔の手」で願いをかなえようとしたことで怪異につかれ、左腕が悪魔の腕になってしまった過去を彼女はもっている。現在もなお、彼女の腕は悪魔の腕のままなのだが、はたしてそこに何が起きるのか……。

「今回、駿河が主人公になって、彼女のモノローグを聞くと少し暗い性格なのかなと思いましたが、悩んだり、嘘をついたり、葛藤したりするのは、リアルな高校生っぽくていいなと思っています。今までの登場人物の中でいちばん若い感覚があるので(撫子は幼い、でしょうか)、画面にも青い雰囲気が出せれば……と」

高校3年生になった駿河が、「悪魔様」と呼ばれる謎の人物が「願いごとを必ずかなえてくれる」という噂を聞きつけるところから物語は動き出す。駿河は「悪魔様」の正体を追うが、その中で中学時代にライバルだったバスケットボール選手の沼地蠟花と出会うことに。そして、謎めいた沼地蠟花と駿河の悪魔をめぐる対決が始まる。

「(現在では蠟花の)魅力はまだ映像に出しきれていない気がします。これから蠟花役の阿澄佳奈さんの声を聴いて、分析していきたいです」

駿河の「かなわなくてもいい」願いごとをめぐる青い物語の結末やいかに。「花物語」は全5話で5月31日よりスペシャル放送開始となる。

「(新房総監督とは)原作ラストのセリフを今回のテーマにしようと打ち合わせをしました。早くラストのセリフを聞きたいです」

**神原駿河**
「悪魔の手」に願った少女。暦たちの後輩で、バスケットボール部のスタープレーヤー。左手に、悪魔の左腕を宿している。母の名は神原遠江

**沼地蠟花**
「悪魔様」にかかわりのある少女。中学時代に活躍したバスケットボールプレーヤーだったが、左足の故障で引退。現在でもギプス包帯をしている

### SYMBOLIC PERSON
**物語に現われた過去からの来訪者たち**

今回は、神原駿河と中学時代にライバルだった沼地蠟花(線画)とのエピソードも語られる。また、幼いころに両親を交通事故で亡くしている駿河。母の名は神原遠江(旧姓・臥煙)といい、彼女は貝木泥舟と知り合いだったりと、たくさんの謎を秘めている……。

MEKAKUCITYACTORS
ニュータイプ 2014 年 5 月号付録①
illustrated by KEI ANJIKI
finished by SHAFT
text by HIDEKUNI SHIDA,TOMO KITSUKAWA
©KAGEROU PROLECT/1st PLACE
©じん／1st PLACE・メカクシ団アニメ製作部
メカクシノートブックI

# 4.26の伝言

4月26日から劇場上映が始まる2つの作品。
「たまこまーけっと」のその後を舞台に
ある恋の行方を描く「たまこラブストーリー」。
人気シリーズの完結編となる
「そらのおとしものFinal 永遠の私の鳥籠（エターナルマイマスター）」。
再会の喜びと、別れの予感。
それぞれの物語から、
僕らが受け取るメッセージ……。

**牧野かんな**
たまこの同級生。かねてから狙っていたバトン部の部長の座はまだあきらめていないらしい？　大工の娘

**朝霧史織**
バドミントン部に所属している。2年生のときにたまこたちと同じクラスになり、3人と仲よくなった

**常盤みどり**
たまこの幼なじみで、何かとたまこの世話を焼いているしっかり者。バトン部では、部長を務めている

**北白川たまこ**
うさぎ山商店街で暮らす、もち屋の娘。学校ではバトン部に所属。高校3年生になった今も頭の中はおもちのことでいっぱいのようす

## 「たまこラブストーリー」

●4月26日より全国ロードショー
●同時上映「南の島のデラちゃん」

WEB▶http://tamakolovestory.com/

illustrated by NAMI IWASAKI, painted by RINA MIURA
background by TOMOKI HIRAISHI, composite by RIN YAMAMOTO
text by YOSHIKATSU NAKAGAMI, TOMO KITSUKAWA



**STAFF**　監督＝山田尚子　脚本＝吉田玲子　キャラクターデザイン＝堀口悠紀子　美術監督＝田峰育子　色彩設計＝竹田明代　撮影監督＝山本倫　音楽＝片岡知子　アニメーション制作＝京都アニメーション

**CAST**　北白川たまこ＝洲崎綾　大路もち蔵＝田丸篤志　常盤みどり＝金子有希　牧野かんな＝長妻樹里　朝霧史織＝山下百合恵　北白川あんこ＝日高里菜

**STORY**　家が向かい同士の幼なじみとしていっしょに成長してきた、たまこともち蔵。もち蔵はいつしかたまこに恋心を抱くようになっていた。そして、高校3年生になったある日。もち蔵はついに、自分の気持ちを伝える決心をする

# 新たな精霊に導かれし未来(デート)

INVITATION

## 「II」は、よりアニメ映えするシーンが！

「これまでの士道はどちらかというと、精霊たちのサポートをする役回りでした。しかし今回はより主人公らしい活躍をご覧いただけると思います」

五河士道を演じる島崎信長は、「デート・ア・ライブII（以下、II）」での士道についてそう語る。

「第一期を通じて、士道は精霊に対して積極的になったと思います。物語の序盤では、〈ラタトスク〉の指示に巻き込まれるようにして、精霊と接していました。しかし、シーズンの最後では誰かに促されなくても自分の意志で精霊を『救いたい、守りたい』と強く願うようになりました。命の危機に瀕してもひるまない姿はとてもかっこいいです」

しかし、士道には変わらない部分もあるという。

「十香や折紙といった美少女にあれだけ好意を寄せられて、ラッキースケベに遭遇しても、まったく女性慣れしない。そんな清廉潔白なところは、相変わらずです（笑）」

「II」では、新たな精霊として双子の八舞耶倶矢・夕弦と誘宵美九が登場する。彼女たちの魅力を島崎に解説してもらった。

「耶倶矢はスレンダーで中二病ぎみ、夕弦はクールな巨乳と、それぞれが異なるよさをもっています。もちろん、別々でもかわいい2人ですが、息の合った掛け合いを見ると、魅力が倍増します。また、八舞姉妹はどちらが先に士道を落とせるのかを競争していて、その迫り方も相乗効果でスゴイことになっています。彼女たちの『パワープレイ』をぜひご堪能してほしいです！」

精霊の中で、一、二を争う島崎のお気に入りであるという美九はどうだろうか。

「美九は、アイドルとして活躍しているということもあり、ビジュアルは最高。しかし、辛い過去により、心に闇を抱えています。デレさせることの難易度がかなり高い彼女に士道がどうアプローチするのか、ぜひお楽しみに。また、美九編ではライブシーンもあります。スタッフ一同思いっきり力を入れてつくっています！」

八舞姉妹、美九のほかにも、続々と新キャラが登場する「II」。物語の熱さは前作以上だ。

「前期以上に盛り上がる展開がたくさん待っています。キャラクターたちの内面も深く掘り下げられ、『デート』ファンはもちろん、「II」から見はじめた方にもきっと大満足いただけるはずです。精霊とAST（対精霊部隊の自衛隊）とのバトル、メカでの戦闘、ライブなど、アニメーション映えする要素も満載ですので、ぜひ毎週見逃すことなくご覧くださいー！」

**誘宵美九**（いざよい みく）
女子高生アイドルとして活躍する精霊。その美声は、聞く者を虜にする。当然、異性にもてるが、彼女自身は男性に興味がないようで……

**八舞夕弦**（やまい ゆづる）
つねに冷静なしゃべる方をする八舞姉妹のひとり。つねに耶倶矢と何事か競い合っている。バストサイズは耶倶矢よりもかなり大きいとのこと

**八舞耶倶矢**（やまい かぐや）
八舞姉妹の片割れ。中二病が入ったことば使いが特徴的だが、動揺するとすぐに素を見せてしまう。夕弦と比べるとスレンダーなスタイルだ

**夜刀神十香**（やとがみ とおか）
士道が最初にデレさせた精霊。圧倒的な戦闘力を誇るが、世間知らずで食いしん坊。好きなものはきなこパン。現在は士道と同じ学校に通っている

**五河士道**（いつか しどう）
精霊とデートをしてデレさせてキスをすることで、その力を封印できる能力をもつ男子高校生。面倒見がよく、家事全般も得意

### SYMBOLIC PERSON
**一瞬即発無表情娘 鳶一 折紙**
精霊によって殺された両親の仇を探すために対精霊部隊・ASTに入隊。五河琴里がその精霊だと思い込み逆上する折紙。士道の説得によって落ち着いたが、精霊を憎む気持ちは変わらない。現在は新兵器の試作機を無断使用した罰で2か月の謹慎処分中。「II」ではどんな行動にでるのだろう？

## 「デート・ア・ライブII」 TV

●4月11日金よりTOKYO MX、AT-Xほかにて TVアニメ放送開始予定

WEB▶http://date-a-live-anime.com/
Twitter▶@date_a_info

illustrated by EIJI ISHIMOTO, painted by Studio GUSH
finished by ATSUSHI FURUKAWA, text by MASAAKI HOSHI



**STAFF**　原作＝橘公司　原作イラスト＝つなこ（ドラゴンマガジン連載、ファンタジア文庫刊）　監督＝元永慶太郎　ヴィジュアルディレクター＝斎藤久　シリーズ構成＝白根秀樹　キャラクターデザイン＝石野聡　総作画監督＝相澤伽月　メカ総作画監督＝神戸洋行　メカデザイン＝明貴美加、森木靖泰　プロップデザイン＝岩畑剛一　美術監督＝市倉敬（アトリエPlatz）　色彩設計＝古川篤史　設定考証＝鈴木貴昭　音響監督＝えびなやすのり　音楽＝坂部剛　OPテーマ＝sweet ARMS「Trust in you」アニメーション制作＝プロダクションアイムズ

**CAST**　五河士道＝島﨑信長　夜刀神十香＝井上麻里奈　鳶一折紙＝富樫美鈴　五河琴里＝竹達彩奈　四糸乃＝野水伊織　時崎狂三＝真田アサミ　八舞耶倶矢＝内田真礼　八舞夕弦＝ブリドカット セーラ 恵美　誘宵美九＝茅原実里　村雨令音＝遠藤綾　神無月恭平＝子安武人　崇宮真那＝味里　岡峰珠恵＝佐土原かおり　殿町宏人＝勝杏里　五河士織＝藏合紗恵子　岡峰美紀恵＝佐藤奏美　ミルドレッド・F・藤村＝小笠原早紀　ジェームス・A・パディントン＝中西 としはる　ジェシカ・ベイリー＝甲斐田裕子　エレン・ミラ・メイザース＝伊藤静　アイザック・レイ・ペラム・ウェストコット＝置鮎龍太郎　エリオット・ウッドマン＝中田譲治

**STORY**　来禅高校に通う、普通の高校生だった五河士道は、最初の精霊〈十香〉との遭遇をきっかけに、「精霊の力を封印する」という能力に目覚める。この世界でただひとり、精霊の力を封印する能力をもった士道は、彼女たちを救うため、美しき精霊たちとの生死をかけた戦争〈デート〉に身を投じていく――。さまざまな思惑が交錯するなか、やがて世界を真に回す者たちが闇の底からその姿を現わす。そして士道もまた、みずからの真実の姿を知ることになる

# 終わらない世界のために

## 「そらのおとしものFinal」
### 永遠の私の鳥籠（エターナルマイマスター）

●2014年4月26日より劇場公開
●コミックス20巻×「そらのおとしものFinal」キャンペーン実施。詳しくは公式WEBをチェック

WEB▶http://kadokawa-anime.jp/soraoto/

illustrated by KENICHIROU KASUYA, painted by RIC
finished by TAKAO KANAKUBO, composite by T2 studio
text by MASAAKI HOSHI



**STAFF**　原作＝水無月すう（月刊「少年エース」連載、角川コミックス・エース刊）監督＝斎藤久　脚本＝黄樹弐悠　脚本監修＝柿原優子　キャラクターデザイン・総作画監督＝渡邊義弘　SD・エフェクト総作画監督＝鷲北恭太　特殊効果＝古市裕一　美術＝スタジオちゅーりっぷ　美術監督＝前田実　3DCGディレクター＝渡辺哲也　色彩設計＝金久保高央（Triple A）　撮影＝T2studio　撮影監督＝設楽希、横山翼（T2studio）　編集＝木村祥明（IMAGICA）　音響監督＝高橋剛　音響効果＝今野康之（スワラ・プロ）　音響制作＝グロービジョン　音楽＝岩崎元是　音楽プロデューサー＝植村俊一　主題歌＝blue drops〈吉田仁美&イカロス（早見沙織）〉　音楽制作＝日本コロムビア　アニメーション・プロデューサー＝黄樹弐悠　アニメーション制作＝プロダクションアイムズ

**CAST**　桜井智樹＝保志総一朗　イカロス＝早見沙織　見月そはら＝美名　守形英四郎＝鈴木達央　五月田根美香子＝高垣彩陽　ニンフ＝野水伊織　アストレア＝福原香織　風音日和＝日笠陽子　カオス＝豊崎愛生　ダイダロス＝大亀あすか

**STORY**　桜井智樹と暮らしてきたイカロスだが、彼女は一度も笑顔を見せたことがない。智樹はそんなイカロスに笑ってほしいと願っていた。そんな智樹が、イカロスに下した命令とは!?

## 鑑賞後には結末の先をきっと見たくなる！

from 桜井智樹役 **保志総一朗**

TVシリーズ第1期から、4年以上の時間を智樹とともに歩んだ保志総一朗にアフレコの感想を聞いた。

「完結編ということで、いつにも増してシリアスなエピソードがずっしりと心に響きました。一方で、『そらおと』らしい、脳天気なおばかなエピソードもあり、アフレコではその切り替えにかなりエネルギーを使ったことを覚えています」

アフレコでは、どんなディレクションがあったのだろうか？

「2度にわたるTVシリーズと劇場版という積み重ねがあったので、日常シーンやシリアスな部分の演技については、基本的にキャストにゆだねてくださいました。主に監督から指示があったのは、智樹の変態的なところですね……。『もっとひどく』というように相談されました（笑）。『そらおと』らしいですよね」

長くかかわってきた「智樹」というキャラクター。2期からは2頭身キャラとして登場することも多く、「そらおと」のなかで愛すべき存在でもある。

「優しくて、仲間思いな男の子です。いいところを挙げるときりがありませんね。『そらおと』に登場するキャラクターがのびのびとしているのは、すべてを包んでくれる智樹の優しさがあるからでしょう。また、そういうよさをすべて覆す智樹ならではの変態さというか、ハチャメチャぶりもありますが、それもよさとしておきましょう（笑）」

ついに完結を迎える「そらおと」。保志の考える「Final」の見どころとは？

「注目はイカロス。今までなかった〝生〟っぽい彼女を見ることができるかもしれません。上映が終わるころには、もっと『そらおと』が好きになっているはずです。単純に続きが見たいというのではなく、作品の世界にどっぷり感情移入していることでしょう。どんな『Final』が描かれるのか――。ぜひ劇場でご覧ください！」

## イカロスに焦点を当て物語を構成した

from **斎藤 久** 監督 & **黄樹弐悠** 脚本・プロデューサー

「そらのおとしものFinal」制作の佳境を迎えるスタジオに潜入。忙しく作業にあたる監督の斎藤久と、アニメーション・プロデューサーおよび脚本を担当した黄樹弐悠を直撃した。

「イカロスはヒロインでありながら、あまり中心となって活躍させてあげることができなかったキャラクターです。そのため、『Final』では、イカロスにスポットを当てたいと考えました」（斎藤）

「監督のアイデアを受けて、脚本監修の柿原優子（『そらおと』シリーズの脚本を担当）さんと相談しながら、私がシナリオにまとめました。実質的には、脚本は3人の共同作業といえます」（黄樹）

原作側からのオーダーは〝『そらおと』らしさ〟を大事にしてほしいということ。

「『そらおと』の魅力は、ギャグとシリアスのギャップにあります。今回も、その点については自信がありますす（笑）。それだけに、智樹役の保志さんには、かなり負担をかけてしまいました。シリアスシーンからギャグシーンへの落差もかなり大きいので、気持ちの切り替えは大変だったと思います」（斎藤）

「Final」をより堪能するためのヒントを聞いてみると――。

「まずは、やっぱりTVシリーズをチェックしておいてほしいですね。そして手もとに漫画の最終巻を用意してほしいです。原作を読んでからでも、『Final』を見てもいいし、その逆でも楽しめると思います。今回は、作画や色合いも含めて、原作に密接にリンクしているので、アニメを見たことのない原作ファンの皆さんもご期待ください」（黄樹）

監督の斎藤にとっても、「そらおと」は大切な作品だという。「自分の監督人生の構成比率としてはかなり大きい」と斎藤は語ってくれた。

「キャスト、スタッフが団結して作品作りに取り組みました。私自身が、ぜひ入れておきたかったとっておきのエピソードもありますので、ぜひお楽しみに！」（斎藤）

**ニンフ**
イカロスを回収するために地上に舞い降りたエンジェロイドだが、智樹の優しさにふれ、桜井家に居候することに。電算能力に長けていて頭がよく、みんなのツッコミ役になっている

**アストレア**
食い意地が張ったエンジェロイド。近接戦闘型エンジェロイドで戦闘力は高いが、代わりに電算能力を積んでいない愛すべきおバカ。智樹とはくだらないことでよく言い争っている

**イカロス**
智樹を〝マスター〟として慕うエンジェロイド。基本的に感情を現わすことはなく、智樹の命令にはどんなことでも服従する。一方で、最強の戦闘力をもつエンジェロイドでもある

**カオス**
〝愛〟とは何かを探し求めるエンジェロイド。その意味を知るために、智樹たちに攻撃を仕掛けた。イカロスに撃破された後は、イカロスたちといっしょに桜井家に居候している

4.26の伝言

TV 「キャプテン・アース」
毎週／土 深夜1.58-2.28 MBS
その他の放送局はP.83を参照

WEB▶http://captain-earth.net/

illustrated by HIDEKI ITOH
painted by YUKARI GOTOU
background by MASARU YANASE(EASTER)
text by HIROYUKI KAWAI,
YOHEI HOSOKAWA



# SAIL INTO SPACE

## 地球の命運は、その操縦席に座る少年に託された——

ゲートをくぐるにつれて
完成していく巨大ロボット!

圧倒的な情報量で展開した第1話を徹底的にひも解く総力特集!

**嵐テッペイ**
9年前にダイチと出会った少年。今もそのときに譲られたブルースターを大事にしている。彼が背負う宿命を、ダイチはまだ知らない

**夜祭アカリ**
17歳の天才ハッカーであり、自称〝魔法少女〟の不思議系。その腕で、民間人ながら世間に秘密裏にされている事態にも精通する

**真夏ダイチ**
ライブラスターを託され、汎用性有人インパクターのパイロットに。幼少期の記憶を追って訪れた思い出の地が、彼の人生を変える

**夢塔ハナ**
種子島の地下深くで眠りについていた少女。かつてダイチとの出会いで目覚めた。かたわらにはピッツという名のリス(?)が寄り添う

### 巨大ロボと主人公をつなぐキーワード

ロボットアニメにおける〝巨大ロボット〟は、主人公の力の象徴である。それゆえ、力を得るためのプロセスには、相応の説得力が必要だ。これは生まれながらに超常の力をもつヒーローではなく、あくまで「等身大の少年」が力を得るプロセスとして欠かせない儀式。今作の第1話で、その説得力をみごとに描き切ったのが、アースエンジン・インパクターへの合体シーンだ。

それは地上から宇宙へ飛び出すという状況変化だけでなく、特技監督・村木靖のコンテにより、大いなる力を得るためのプロセスがダイナミックに描かれる。さらに通過するゲートの名前が天、海、道と、まさにこの世界に並び立つものがない強さを予感させる。

ビジュアル的な説得力が「合体」であるなら、巨大ロボットと主人公を結びつけるための精神的なつながりが、「キャプテン」というキーワードだ。それは父タイヨウの残した生き様であり、地球を守るものに与えられる証である。

期せずして地球を守るための力を与えられたダイチ。その戦いは地球を守ると同時に、父のキャプテンとしての生き様を探す旅路となるのかもしれない。

世界標準
ついに放送が開始された「シドニアの騎士」。
すでに見た読者は、今まで体験したことがない映像が目に焼きついているはず。
未知なる敵・奇居子(ガウナ)が襲いかかるシドニアの世界とは、いったいどのような世界なのだろうか。
作品の世界観を解明すべく、副監督・瀬下寛之に迫る！
そして「シドニアの騎士」の制作を手がけるポリゴン・ピクチュアズに直撃取材を敢行。
アニー賞やエミー賞を受賞する作品を世に送り出しつづける彼らの源とは――。
シドニアの騎士 TV
毎週／木 深夜1.49-2.19 MBS
illustrated by TAKASHI NAGASAKI
finished by NAOYA TANAKA
composite by AKIRA HIRABAYASHI
text by UNIKO
©TSUTOMU NIHEI・KODANSHA／KOS PRODUCTION COMMITTEE

# Pleasure & Treasure

たくさんの希望を求めて進んでいく物語
数え切れない宝を探しに出かけるキャラクターたち
10年目を迎える〝ノイタミナ〟は
どんなすてきな宝物を私たちに見せてくれるのか？

## 誰しもの中にある冒険心に火を！

「原作冒頭の七々々のモノローグを読んだときに心を揺さぶられました。このワクワク感、この高揚感をアニメで皆さんと共有したいんです」

私たちの心の奥で眠っている冒険心に火をつける『龍ヶ嬢七々々の埋蔵金』。ノイタミナ初のライトノベル原作タイトルでもある今作を監督・亀井幹太が躍動させる。

「とにかく『生きているキャラクター』を描くことを心がけています。特に、『女の子をかわいく！』という当たり前のことをどうやって実現させていくか。いくらキャラクターデザインで完璧にクリアできていても、演出しだいでダメになりますから、プレッシャーは大きいですね。難しい！」

作品のもつ魅力として第一に「個性的なキャラクターたちの複雑な絡み合い」をあげる亀井。その中核をなしているのは、主人公の八真重護16歳と彼の部屋に住み憑くニートの美少女地縛霊・七々々だ。

「重護くん、とてもいい奴なんです。でも家柄が関係していて胡散くさいんです。愛すべきワルな部分があっておもしろいです。七々々さん、こんな子と同居ですよ？ たまらんでしょうな。でもひんやりしてるんでしょうね。プリンを幸せそうに食べてるのを見るといやされます。特定のキャラクターにこだわる、などと監督が言ってはダメでしょう。みんな愛さないと。ダルクと静季さんです。いろんなカップリングのキャラクターが登場するのでお楽しみに」

そして、この冒険譚を構築する上で外せないのがアクション演出。VFXのプロフェッショナルである亀井が描く「宝探しシークエンス」とは。

「宝探しの場所となる遺跡は、まるっと3DCGで組み立てております。CG班の努力と貢献と気合いがないと成り立たないハイカロリーな映像です。カメラの振りも含めて『動き』にチャレンジしているので臨場感を味わってほしいですね。ちなみに、物語の舞台となる七重島全景の設定も、今回イチからつくりました。ランドマークになっている巨大なビルに注目！ 最初に小倉信也さんからラフをいただいたときには個性的な意匠に躊躇しましたが、これこそがアニメの七重島の特徴になりました。7つのビル群と一体化したデザインは原作の鳳乃さんのお墨付きですよ」

七重島に眠る七々々コレクションを巡るトレジャーハント・ロワイアル、その宝箱がいま開く！

壱級天災

星埜ダルク

龍ヶ嬢七々々



# 〝当たり前のこと〟が難しい

## 亀井幹太監督

●かめい・かんた アニメーション監督、ビジュアルエフェクター。監督作に「うさぎドロップ」(11)「俺の彼女と幼なじみが修羅場すぎる」(13)などがある。

### 祝! ノイタミナ10年目ですね!

「ノイタミナ」が10年続いたその理由は……幅広い作品を世に送り出してきたから、でしょうか。「ノイタミナ」だからこそ映像化できる作品というものが確かにあると思っています。でも、自分としてはそこに■■して取り組めるほどの余裕はないんですけどね。

## 「龍ヶ嬢七々々の埋蔵金」 TV

●1月10日より毎週(木)深夜1.20～(初回のみ深夜1.30)にて放送開始
●オープニングテーマ「バタフライエフェクト」私立恵比寿中学
●エンディングテーマ「微かな密かな確かなミライ」スフィア
WEB▶ http://www.nanana.tv/
Twitter▶ @nanana_tv

illustrated by MANABU YASUMOTO, painted by KEIKO ENOMOTO
finished by GAKU HIROOKA(Nexus), background by YUSA ITO(KUSANAGI)
text by HITOMI WADA



**STAFF** 原作＝鳳乃一真（ファミ通文庫刊） キャラクター原案＝赤りんご 監督＝亀井幹太 シリーズ構成＝倉田英之 キャラクターデザイン＝川上哲也 プロップデザイン＝■崎忠 色彩設計＝ホカリカナコ 美術監督＝山根左帆 美術設定＝金平和茂 CGI監督＝雲藤隆太 ■■監督＝廣岡岳 編集＝坪根健太郎 音響監督＝明田川仁 音楽＝帆足圭吾・MONACA 制作＝A-1 Pictures

**CAST** 龍ヶ嬢七々々＝田辺留依 八真重護＝小野友樹 壱級天災＝阿澄佳奈 星埜ダルク＝花澤■■ 唯我■■＝■■和幸 渉夕＝鈴木絵理 徒無影虎＝早志勇紀 不義雪姫＝能登麻美子 椴松鷲＝鳥海浩輔 真幌肆季＝内山夕実 夢路百合香＝伊藤かな恵 黒須参差＝櫻井浩美 ■■鉄之進＝細谷佳正 吉野咲■＝大野柚咲

**STORY** 父親に勘当され、七重島にある七重島第三高等部に転入することになった八真重護。彼が暮らすことになったアパートに■龍ヶ嬢七々々という地縛霊が住み憑いていて……

# 10年目の“魔法”

2014

●「魔法少女リリカルなのは」(Blu-ray3枚組)　2014年10月1日㊌発売　価格2万8000円+税
●「魔法少女リリカルなのは A's」(Blu-ray3枚組)　2014年11月5日㊌発売　価格2万8000円+税
●「魔法少女リリカルなのは StrikerS」(Blu-ray 6枚組)　2014年12月3日㊌発売　価格3万8000円+税

WEB▶ http://www.nanoha.com/

text by RYOSUKE TERAO

TV「ノーゲーム・ノーライフ」

毎週／水 深夜0.30-1.00 TOKYO MXほか

その他の放送局はP.77を参照

WEB▶ http://ngnl.jp/
Twitter▶ @ngnl_anime

illustrated by KOJI OHYA, finished by MADBOX
bankground by STUDIO TULIP, text by MASAAKI HOSHI



# ゲームで勝利が世界の正義

## ディスボードでは絶対的なヒーロー

ルールは単純、世界のすべてを決めるのはゲームの勝敗のみ。そんな"ディスボード"を舞台に、ゲームでは無敵の兄妹、空と白の活躍を描く「ノーゲーム・ノーライフ」。監督を務めるいしづかあつこは、原作をどう読んだのだろうか。

「最初の感想は『何じゃ、こりゃ！』(笑)。世界観の大きさやキャラクターたちの行動が途方もないスケールで、すそ野の無限の広がりを感じました」

監督自身が「途方もない」と言うディスボードだが、どのようにその世界を構築したのだろうか。

「原作を読み込んで、文中からディスボードの世界のヒントを探りました。また、知り合いのフランス出身のアニメーション作家に出してもらったデザイン案も参考にしています。つまり、原作の榎宮先生の出身地のブラジル、フランス、そして日本のイマジネーションが複合したものといえるでしょう(笑)。さらに、もともと私はファンタジーの世界が好きなので、思いつく限りのアイデアを詰め込んでいます」

そんなディスボードの世界にテトによって引きずり込まれた空と白の兄妹をどう描くのだろうか。

「空と白は、徹底的にヒーローとして表現したいと考えています。ディスボードにおいて、彼らは正義や人助けのために行動しているわけではありません。しかし、目の前のゲームに必死に取り組むことで、結果的に人を救っている。そんな彼らは、紛れもなくヒーローです。現実世界でのまったく生産性のない姿とは引き離すように意識しています」

アニメ化にあたって大事にしたのは、原作のもつ「爽快感」であるという。

「空と白の2人が頭を使って、ディスボードの世界を勝ち上がっていく。その爽快感は絶対にアニメでも再現したいなと思いました。そのためゲームのルール説明は必要最低限にとどめることで、スピード感を出しています。どこまで省略するかということに関しては、シリーズ構成の花田十輝さんを中心にしてシナリオ会議で頭を振り絞りました。もちろん、榎宮先生にもご協力をいただいています」

ディスボードの世界は、まだまだ謎だらけだ。監督に、今後の見どころを聞いてみた。

「序盤の見どころはクラミーでしょう。なぜ、クラミーが必死になって戦っているのかその理由を知ると、クラミーのことが大好きになると思います。そして、『十の盟約』も覚えておいてください。ディスボードの基本かつ絶対的なルールで、アニメ終盤までも深くかかわってきますよ」

### 空

コミュ障なゲーム廃人。純粋な頭脳戦では白に及ばないが、駆け引きや読心術にたけ、不確定要素の高いゲームでは絶対的な強さを誇る

### 白

空の妹。圧倒的な論理的思考力で、自由意志が介入しないゲームでは無敵。言語能力も高く、未知のことばでも瞬く間に習得してしまう

### テト

『十の盟約』を定め、ディスボードを単純なゲームですべてが決まる世界にした張本人。空と白の実力を見込んでディスボードに誘う

### クラミー・ツェル

クールで、つねにベールで顔を覆っている。人類種の国の次期国王を決めるゲームで連勝中だが、その強さには何か秘密があるようで……

### ステファニー・ドーラ

人類種の国のお姫さま。愛称はステフ。プライドは高いけれど、人のことばをあっさりと信じてしまう純粋な心もあわせもっている

### SYMBOLIC PERSON

**少年の姿をした唯一神 テト**

ディスボードに唯一絶対の神として君臨する。いわゆる創造主的な立場。子供のような外見とはうらはらに、気まぐれひとつでディスボードを破壊できるほどの絶大な力をもっている。現実世界で実力を持て余していた空と白を、自分の退屈しのぎのためにディスボードの世界に引きずり込んだ。

# 災厄の力で東京を護る

## ガストレアに引き裂かれた人類

異形の寄生生物ガストレアと人類の戦いを、熱く、激しく描く電撃文庫の人気作「ブラック・ブレット」がついにアニメ化された。オンエア済みの第1話ではまだまだ謎に包まれているその作品世界について、シリーズ構成・浦畑達彦に話を聞いた。

まず、この世界と人類が置かれている状況はどのようなものなのか。

「先のガストレア大戦で人口を大幅に減少させた人類は、ガストレアの唯一の弱点である『バラニウム』という金属で囲まれたエリアの中で暮らしています。技術レベルは現代より進歩しているところもあるのですが、資源が足りず、食料も不足しているので、下がって見えるところもありますね」

それだけの状況を招いたガストレアとは、どれほどの脅威なのか。

「ガストレアは、体液を注入することで人類をガストレア化し、増殖することができる、いわば人類の捕食者、上位者といえるでしょう。生態や、誕生のきっかけも不明です。現代には、ガストレアほどの圧倒的な力と継続性を備えた人類の脅威は、おそらく存在しません」

では、そんなガストレアに対抗すべく存在する、蓮太郎や延珠たち「民警」とはいったいどんな存在なのか。

「民警というのは、民間警備会社の略で、現在の私設軍隊のようなものです。民間経営されている、武装を許された存在ですね。ガストレアにまともに対抗できる現時点でのほぼ唯一の手段が、母親の胎内でウイルスを取り込みながらもガストレア化せずに、驚異的な再生能力、身体能力や、生物因子の強化という面を受け継いで生まれた〈呪われた子供たち〉なんです。しかし〈呪われた子供たち〉は社会的に認知されてないので、かかわり合うことは汚れ仕事だとみなされている。だから許可制で民警という仕組みをつくり、仕事を肩代わりさせているわけです」

それだけ重要な存在であるにもかかわらず、〈呪われた子供たち〉の立場が悪いのはなぜなのだろうか。

「ガストレア大戦の記憶がある人たちは、ガストレアという存在そのものを憎悪しています。だからこの世界では〈呪われた子供たち〉に人権を与えようと考える人と、滅ぼそうと考える人がいて、統治機構のなかで対立しています。二派の綱引き状態なんですね。

ガストレアとの直接の戦いはもちろん、そうした政治的な部分や、蓮太郎とかかわりの深い天童家をめぐる物語も描かれていきます。そこも楽しみつつ、延珠たち〈呪われた子供たち〉のかわいさを見てもらえればうれしいですね」

### SYMBOLIC PERSON

**東京の闇・蛭子影胤**

1話冒頭で衝撃的な登場をした、自称「世界を滅ぼす者」。事件現場で遭遇した蓮太郎に興味をいだいた様子を見せた。その彼がめざす世界の形とは……？　蓮太郎が放った「隠禅・玄明窩」の一撃をくらっても倒れない人間離れした戦闘力の秘密など、いっさいが不明。

# 棺姫のチャイカ TV

毎週／水 深夜1.05-1.35 TOKYO MXほか

その他の放送局はP.78を参照

WEB▶http://chaika-anime.jp/
Twitter▶@ChaikaTrabant

●OPテーマ「DARAKENA」(歌:野水いおり)&EDテーマ「快楽原理」(歌:coffin princess)4月23日(水)同時リリース!

illustrated by MASARU OSHIRO, finished by SHIHO OKAMIYA(wish)
special effect by YUICHI FURUICHI, text by MANABU HASHIMOTO



# BLOOD LINES

トール・アキュラ

アカリ・アキュラ

チャイカ・トラバント

アキュラ兄妹は実の兄妹ではない。
しかし、兄妹は互いを信用するに十分な、同様の究極奥義をもつ。
「我は鋼なり——!」
己の身体を鋼の如く武装させる〝鉄血転化〟。
それは、棺背負う謎の少女を守護する双剣となる。

## 紫眼の少女が欲する「大事なもの」

「生きててもやることねぇし、こんな世界じゃ……俺は能無しだ」

およそ主人公とは思えぬ、この後ろ向きな発言こそトールの本心だった。彼が紫眼の少女・チャイカと出会うまでは……。

3世紀にも及んだ戦国時代が終焉を迎え、太平の世が訪れた時代。乱世に暗躍した乱破師(サバター)として育てられたトールは、己の術を生かす道を完全に見失っていた。その姿はまさに「ニート」そのもの。そんなトールを支えていたのが、同じく乱破師として育てられた血のつながらない妹・アカリだ。兄に対してゆがんだ執着を見せるアカリは、世捨て人と成り果てたトールに代わり、日々の糧を稼ぐ役目を負っていた。

ある日、この奇妙な義兄妹の前に、身の丈にそぐわぬ大きな棺を背負った少女・チャイカが現われる。幼いながらも魔法師(ウィザード)として高い能力をもつ彼女は、みずからの使命のため単身で旅を続けていたのだ。トールとアカリの実力を見込んだチャイカは、その使命のため彼らに仕事を依頼する。それは、当地を治める領主・アバルト伯爵邸から「大事なもの」を盗み出すというもの。

乱破師としての力を解放し、この依頼に挑んだトールたちだったが、そこには魔法師・アバルトの猛攻が待ち受けていた。しかし、チャイカの姿を見たアバルトは、よろめきながらこう口走る。

「馬鹿な……貴様は死んだはずだ!」

はたしてこのことばの真意とは? そして、チャイカが命懸けで欲する「大事なもの」とは? さまざまな謎を呈示しつつ怒濤の第1話は幕を閉じた。しかし、それはまだこの壮大な物語のほんの序章に過ぎない。

## MUSIC of CHAIKA

EDテーマ「快楽原理」を歌う「coffin princess」は出演キャストによるスペシャルユニット！　今月の「MUSIC」ページではインタビューを実施♪

詳しくはP.164で紹介!

# 語られる、ソノ新境地

## 監督 佐藤順一 インタビュー

ソノ異形、歌声とともに

幼少期

**鷺沼アカシ**（サギヌマ・アカシ）

イクスのお膝元にある九久ノ智学園に通う天涯孤独の少年。無明領域でイクスの調査員として亡くなった兄は優秀で、いつも比較されて育ってきたため、彼を憎んでいるが……。

幼少期

幼少期

**破先エミル**（ハザキ・エミル）

九久ノ智学園のパイロットコースに編入してきた、学園のアイドル的存在。両親を無明領域で失ったあと悲惨な幼少期を過ごし、それを埋め合わせるため貪欲に幸せを求める。

幼少期

# ソノ異形、歌声とともに

謎のベールに包まれた新作ロボットアニメ「M3～ソノ黒キ鋼～」。
その正体を探るべく、
佐藤順一監督（「カレイドスター」、「ARIA」シリーズ、「ケロロ軍曹」ほか）を直撃した！

波戸イワト

鷺沼アカシ

霞ライカ

破先エミル

## 豪華スタッフ陣による異色作、始動！

10年前、東京で生まれた小さな闇《無明領域》は、瞬く間に広がり、すべてを奪い去った。多くの都民は地方に避難し、今や東京全域は立ち入り禁止となって隔絶されている。そして、いつしか無明領域では、スクラップの集合体のようなバケモノが誕生し、周辺の街にも出没するようになった。彼らへの対抗手段、それは特殊企業体イクスの開発したロボット《マヴェス》だけだ。やがてアカシ、ライカ、イワト、エミル、マアム、ヘイト、ミナシ、ササメの8人は、マヴェスのパイロット候補生として招集されるのだが……。

佐藤順一×岡田麿里×河森正治という豪華スタッフによるオリジナルSFホラー「M3～ソノ黒キ鋼～」は、佐藤原案による貞松龍壱のロボット青春漫画「Mortal Metal 屍鋼」をブラッシュアップ、完全新作として換骨奪胎したものだ。

さて、本作について明らかになっている情報は、まだ少ない。現在、8人の少年少女たちの青春群像劇であること、三点支点の車輪で移動する河森デザインのロボットが登場し、オカルティックな背景を有するモンスターと戦うことなどが判明しているものの、その詳細は不明。これまで青春の光を描いてきた佐藤と、青春の影を描いてきた岡田という組み合わせが、いかなる物語を紡ぎだすのか。そして、そこにロボットやモンスターが、いかに絡んでいくのか。今なお謎のアニメといった様相が色濃い状況ではあるものの、本作が異色のアニメーションとして注目を集めることは間違いないだろう。

## M3～ソノ黒キ鋼～ TV

●4月21日より毎週月深夜1.35～TOKYO MXほかにて放送開始
●その他の放送局はP.83を参照

WEB▶http://m3-project.com/
Twitter▶@M3_anime

illustrated by KII TANAKA, 3DCGI by KOSUKE MORINO, finished by AYAKO HONMA
painted by NORIHITO KOJIMA, TSUYOSHI KURIHARA, AKANE ABE, MAIKA SAKURAI
background by YOKO KOMIYA, text by GIGAN-YAMAZAKI



**STAFF** 監督＝佐藤順一　シリーズ構成＝岡田麿里　キャラクター原案＝オニグンソウ　アニメーションキャラクターデザイン＝井上英紀　メカデザイン＝河森正治　音響監督＝濱野高年　音楽＝サキタハヂメ　OPテーマ＝May'n「Re:REMEMBER」 EDテーマ＝la la larks「ego-izm」 制作＝サテライト　製作＝M3プロジェクト

**CAST** 鷺沼アカシ＝松岡禎丞　破先エミル＝日笠陽子　出羽ササメ＝小岩井ことり　波戸イワト＝前野智昭　霞ライカ＝矢作紗友里　真木ミナシ＝柿原徹也　弓月マアム＝福圓美里　伊削ヘイト＝村瀬歩

**STORY** 突如として現われた漆黒《無明領域》に飲み込まれ、異形が跳梁跋扈する無法地帯と化した近未来の東京。8人の少年少女は、人型ロボット・マヴェスを駆り、無明領域に挑む！

## イマシメ

無明領域にとどまることで、人間や無生物は屍鋼（シバガネ）と呼ばれる精神をもった物質に変質してしまう。イマシメは、人間の強い思いを核にして結集した屍鋼の活動体である。自衛隊などが所持する通常兵器では、その体を一時的に分解することしかかなわない。

悪魔のリドル TV
毎週／木 深夜2.19-2.49 MBS
その他の放送局はP.78を参照
WEB► http://www.akuma-riddle.com/
●OPテーマ「創傷イノセンス」内田真礼、4月23日発売
●キャラクターEDテーマ集「黒組曲・序」、5月14日発売
illustrated by KAZUHISA KOSUGE, supervised by NAOMI IDE
finished by YUKI HAYASHI
composite, background & specialeffect by YASUYUKI ITO
text by HITOMI WADA shot by YASUHIKO KANI
©高河ゆん・南方純／KADOKAWA刊／「悪魔のリドル」製作委員会
腐った海のにおい。
それは暗殺者の肢体に
こびりついた血液の生ぐささ。
それは最後まで生にしがみついた
ターゲットの生ぐささ。
そんなにおいをまとって、12人の
女子高生がひとつのクラスに集まる。
ある者は、報酬のために。
ある者は、快楽殺人のために。
ある者は、機関で養成された
殺しのプロフェッショナルとして。
仕立てられた舞台は、
私立ミョウジョウ学園10年黒組。
ターゲットはたったひとり、
13人目のクラスメイト。
さあ、暗殺を始めよう。
勝者にはあしたを、敗者には花を。
Just One Guardian
【黒組ルール】
1. 暗殺に成功した者には、望むものが何でもひとつ与えられる
2. 黒組の生徒以外の人間を巻き込んではならない
3. 暗殺に失敗した者、並びにルール2に反した者は、即時退学